

復活節第2主日

特禱・詩編・聖書日課・代禱

(聖書日課は聖書協会共同訳)

◆特 禱

全能の父よ、あなたはわたしたちを罪から救うため、独りのみ子を死に渡し、また義とするためによみがえらせてくださいました。どうか悪意とよこしまのパン種を除き、常にまことの信仰と清い行いをもってあなたに仕えさせてください。主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。アーメン

◆使徒言行録 5：12a、17～22、25～29

¹²使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議な業とが民衆の間で行われた。

¹⁷そこで、大祭司とその仲間たち、すなわち、そこにいたサドカイ派の人々は皆、妬みに燃えて立ち上がり、

¹⁸使徒たちを捕らえて公の牢に入れた。¹⁹ところが、夜間に主の天使が牢の戸を開け、彼らを外に連れ出し、²⁰

「行って神殿の境内に立ち、この命の言葉を残らず民衆に告げなさい」と言った。²¹これを聞いた使徒たちは、夜明け頃、境内に入って教え始めた。一方、大祭司とその仲間が集まり、最高法院、すなわちイスラエルの子らの全長老会を召集し、使徒たちを引き出すために、人を牢に差し向けた。²²下役たちが行ってみると、使徒たちが牢にいないので、引き返して報告した。²⁵その時、人が来て、「御覧ください。あなたがたが牢に入れた者たちが、境内にいて民衆に教えています」と告げた。²⁶そこで、神殿の主管は下役を率いて出て行き、使徒たちを引いて来た。しかし、民衆に石を投げつけられるのを恐れて、手荒なことはしなかった。

²⁷彼らが使徒たちを引いて来て最高法院の中に立たせると、大祭司が尋問した。²⁸「あの名によって教えてはならないと、厳しく命じておいたではないか。それなのに、お前たちはエルサレム中に自分の教えを広め、あの男の血を流した責任を我々に負わせようとしてい

る。」²⁹ペトロと使徒たちは答えた。「人に従うより、神に従うべきです。」

◆詩編 第150編

- 1 ハレルヤ、聖所におられる神をたたえよ || 力みなぎる大空におられる神をたたえよ
- 2 その力あるみ業のゆえに神をたたえよ || その偉大さのゆえに神をたたえよ
- 3 角笛を吹いて神をたたえよ || 琴を弾き、豎琴を奏でて神をたたえよ
- 4 鼓と舞を合わせて神をたたえよ || 弦をかき鳴らし、笛を吹いて神をたたえよ
- 5 高鳴るシンバルで神をたたえよ || 鳴り響くシンバルで神をたたえよ
- 6 息あるすべてのものは主をたたえよ || ハレルヤ

◆ヨハネの黙示録 1：9～19

⁹私は、あなたがたの兄弟であり、共にイエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっているヨハネである。私は、神の言葉とイエスの証しのゆえに、パトモスと呼ばれる島にいた。¹⁰主の日、私は霊に満たされ、後ろの方でラッパのような大きな声を聞いた。¹¹その声は言った。「あなたが見ていることを巻物に記し、エフェソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアの七つの教会に送れ。」

¹²私は、語りかける声の主を見ようと振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見え、¹³燭台の間には人の子のような方がおり、足元まで届く衣を着て、胸には金の帯を締めていた。¹⁴その方の頭髪は白い羊毛に似て雪のように白く、目は燃え上がる炎、¹⁵足は燃えている炉から注ぎ出される青銅のようであり、声は大水のとどろきのようであった。¹⁶また、右手には七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が突き出て、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

¹⁷この方を見たとき、私は死人のようにその足元に倒れた。すると、その方は右手を私の上に置いて

言われた。「恐れてはならない。私は最初の者であり最後の者、¹⁸また、生きている者である。ひとたび死んだが、見よ、世々限りなく生きており、死と陰府の鍵を持っている。¹⁹それゆえ、あなたが見たこと、今あること、また後に起こることを書き記せ。」

◆ヨハネによる福音書 20：19～31

¹⁹その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。²⁰そう言って、手と脇腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。²¹イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」²²そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。

「聖霊を受けなさい。²³誰の罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

²⁴十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。²⁵そこで、ほかの弟子たちが、「私たちは主を見た」と言うのと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して信じていない。」²⁶八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。²⁷それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」²⁸トマスは答えて、「私の主、私の神よ」と言った。²⁹イエスはトマスに言われた。「私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は、幸いである。」

³⁰このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさしたが、それはこの書物に書かれていない。³¹これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じて、イエスの名によって命を得るためである。

代祷項目

★世界の教会とそれに連なる人びとのため

【世界の聖公会】 アングリカン・コミュニオン パプア・ニューギニア聖公会
【東京教区】 とうきょうせいじゅうじきょうかい 東京聖十字教会、せいこうかいしんがく 聖公会神学院 (諸聖徒礼拝堂)、ぼうし いんかい ハラスメント防止委員会、せいあいきょうかい やまてきょうかい 聖愛教会、きょうぎかい ぼくし 山手教会グループ (協議会、牧師協議会)

【北関東教区】 りっきょうがくいんせい 立教学院聖パウロ礼拝堂、れいはいどう しんまち 新町聖マルコ教会、たまむらこうぎじょう 玉村講義所、しきせいぼきょうかい 志木聖母教会

【メリーランド教区】 さんいちきょうかい 三一教会、せいなくさめぬしきょうかい 聖慰主教会

【エルサレム教区】 しよせいとぎょうかい 諸聖徒教会 (ダマスカス)

【NCC】 きりすとぎょう 基督教 イースト・エイジャ・ミッション、げんぱつじこ おも チェルノブイリ原発事故に思いを馳せて (4/26)

【信施奉献先】 じどうようごしせつ 児童養護施設のため

★神の愛と正義による平和と和解の実現のため

ことにパレスチナとシリアの平和のため、ウクライナ、ミャンマー、アフガニスタンの平安のため、平和と正義の実現を求めて活動している人々のため

★身近な人々との交わり、教会の交わりのため

ことにこの地域に生活する人々、教会に関わる諸団体・諸施設の営みを覚えて。入信志願者のため、また志願者が与えられるため

★悩み、悲しみまた困難のうちにある人々のため

- ・療養中・ご高齢の人々
- ・東日本大震災および自然災害による犠牲者と被災者、支援する人々、原発事故のために悩んでいる人々、暴力や犯罪、差別や貧困のため、困難な生活を余儀なくされている人々
- ・新型コロナウイルス感染症の苦しみ、不安の内にある人々、医療看護に携わっている人々。ことに職を失って路上生活を余儀なくされた人々、生活が困難になった人々、その方々を支える人々
- ・一人で悩み、苦しんでいる人が教会につながり、神さまに近づくことができますように

★逝去された人びとのため

- ・今週、逝去記念日を迎える人々のため